

Trash・Garbage・Rubbish・Litter

今日は7月7日、七夕です。例年この時期は梅雨のど真ん中なので、私は常々「7・7だと語呂はいいけど(しかも今年は7・7・7)、七夕まつりは旧暦で行えばいいのに…」と思っていました。そもそも伝統的な行事や風習が行われる時期には、それぞれ意味があったはずで、七夕について言えば、太陰暦で7日というと上弦の月(右側が輝く半月)で、日没時には既に南中しています。そして夜が更ける頃には西に沈んでいき、入れ替わるようにして、夏の大きな三角が南天の空に輝く…というのが旧暦の7月7日です。

太陽暦だと月齢には関係がありませんので、例えば今年の7月7日、つまり今日の月齢はおおよそ12日です。月がかなり明るいため、仮に星が見られたとしても、観察には適していません…。※国立天文台は、旧暦の7月7日がいづに該当するを発表しています(今年は8月29日)。



さて、今週末、11日(金)・12日(土)はいよいよ夾竹桃祭です。一年のうちでも最も大きなイベントの一つですので、目一杯楽しんでもらいたいと思っています。

が…我々、監督する側としては、やはり色々心配しないわけにはいきません…。普段より気分が高揚しがちですので、様々な事故が起きやしないか…暑さに対する意識が弱くなって熱中症になりやしないか…等々…。

また、事故ということとは少し話が異なりますが、ぜひ皆さんに意識しておいてもらいたいことがあります。それは、ゴミのことです。

先月の衛生委員会(50人以上の従業員がいる職場で設置することが義務付けられている、労働環境について話し合う場)で、ゴミのことが話題になりました。本校では、御承知のように、技能員さんや管理部の先生等が、各教室等で出たゴミを集めてまとめてくれています。その際、かなり危険な思いをすることがある、ということでした。例えば、本来は燃えるゴミしか入っていない袋に、堅いものとか尖ったものとかが入っていたり、粉状の異物が目に入ってしまったら…。

ゴミの分別は、我々教員も含め、本当にみんなで気をつけなければいけないことです。我々はつい、ゴミ箱に入れたらそれで終わり、という感覚を持ってしまいがちですが、そんなことはありませんよね。どんな人が関わって、どんなルートを辿って、最終的にどうなるのか…自分が出した**ゴミの行方**に思いを馳せる必要があります。

市千葉生は、SDGsを意識した探究活動に取り組んでいます。千葉市や世の中全体の持続可能な発展について考えるのはとても大切なことです。しかしそれよりもまずは**自分の身近なところ**に着目するのが先かもしれません。と言うか、我々の身近なところが、結局は千葉市に繋がっていて、そこから千葉県、日本、そして世界に繋がっていく、ということなのでしょう。

文化祭をきっかけに、ゴミに対する意識が高まると良いなと思っています。